

会議録

- 1 附属機関の名称
犬山市文化財保護審議会
- 2 開催日時
令和4年8月24日（水曜日）
- 3 開催場所
犬山市役所4階401会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
長谷川良夫、赤塚次郎、小嶋毅、林進
 - (2) 執行機関
中村教育部長、（以下歴史まちづくり課）加藤課長、渡邊課長補佐、
市野統括主査、中村主査補、森主査補、中野主事、大前主事補
- 5 議題（報告事項）
 - (1)文化財保存活用地域計画の策定について
 - (2)歴史まちづくり事業について
 - (3)犬山祭の保存修理等及び地域の伝統行事等伝承事業について
 - (4)文化財建造物の保存修理について
 - (5)犬山城について
 - (6)史跡東之宮古墳保存活用事業について
 - (7)天然記念物ヒトツバタゴ自生地について
 - (8)市史編さん事業について
 - (9)史跡名勝天然記念物の現状変更について
 - (10)寄贈資料・寄託資料について
 - (11)その他報告事項
- 6 傍聴人の数
0 人

7 内容

1 報告事項

(1) 文化財保存活用地域計画の策定について

意見無し

(2) 歴史まちづくり事業について

意見無し

(3) 犬山祭の保存修理等及び地域の伝統行事等伝承事業について

意見無し

(4) 文化財建造物の保存修理について

意見無し

(5) 犬山城について

意見無し

(6) 史跡東之宮古墳保存活用事業について

委員：樹木管理の計画はどうなっているのか。

事務局：現在地権者と話し合いを進めている。できるだけ木は切らないようにしてほしいと言われている。慎重に協議していく。

委員：背の高い木などはバランスを崩しているものがあり、非常に危険である。針葉樹は安定性の悪い樹種のため、犬山城の管理計画とは違うという点を考えてほしい。

(7) 天然記念物ヒトツバタゴ自生地について

委員：ヒトツバタゴ自生地の保存について、豊橋市の御油の松並木のように天然記念物指定地を保護区域、周辺区域を管理区域としてはどうか。保護区域は非常に厳正な制限を受け、管理区域は緩やかな制限を設けたほうが良い。

事務局：天然記念物ヒトツバタゴ自生地保存活用計画策定委員会で検討をしていきたい。管理区域にあたる自生地周辺は山やため池であり、地権者は限られていることから理解は得やすいと考える。

(8) 市史編さん事業について

委員：平成に限って行うのか。遡って発見された資料について検討するといったことは計画されていないか。

事務局：基本的に平成中心であるが、調査を行う中で有益な資料が発見されれば、市史に反映できるよう委員会等で検討する。

委員：既に発行されている資料の間違っている箇所を修正や指摘等の対応をしてほしい。

(9) 史跡名勝天然記念物の現状変更について

意見無し

(10) 寄贈資料・寄託資料について

委員：継続事業として寄贈されたものではなく、寄贈して欲しいという形でたま
たま出てきたものなのか。

事務局：はい。

委員：史料館は他にも有力な資料を持っていると考えるが、各施設、団体がバラ
バラに収集して終わるのはもったいない。

事務局：現状はそれぞれの場所で収集しているが、まとめ方が重要であることは認
識しているため慎重に検討していく。

(11) その他報告事項

意見無し